第3回 越前市水道料金·下水道使用料等協議会 次第

日 時: 令和7年9月30日(火)

午後1時30分~3時

場 所:越前市役所3階 第3委員会室

- 1 挨 拶
- 2 第 2 回協議会補足説明

·· 資料]

- 3 議事 … 資料2
 - (1) 適正な使用料の検討の進め方について
 - (2)使用料体系について
 - (3) 使用料改定した場合の影響について

4 そ の 他 ・・・・ 資料2

今後のスケジュールについて

第3回 越前市水道料金・下水道使用料等協議会 座席表

											土木	GL.		
					(諸	長席)					(C		
					奥	村	会	長		•				
永	田	委	員	\circ					\circ	Щ	下	委	員	
下	村	委	員	0					0	柴	田	委	員	
牧	井	委	員						0	畝	ш	委	員	
10	廾	安	貝						0	时人	田	安	貝	
									\circ	牧	野	委	員	

	正條主事	0	小谷副課長	\bigcirc
査	佐々木主査	0	須磨課長	0
	市村所長	0	山田建設部理事	\circ
	木 下 G L	0	山田部長	\circ
			兵課長	0
	今 井 G L	0	齊藤副課長	PC

受託事業者

資料1

第2回協議会 補足説明

第3回 越前市水道料金·下水道使用料等協議会

越前市上下水道課

第2回協議会委員からの意見・質問に対する補足

番号	意見•質問	回答	第2回 スライド
1	資料2の22ページの維持管理費(A)、資本費(B)、資産維持費(C)の数字の元データは何か教えて欲しい。	経営戦略の投資財政計画の数値の平均値より算出している。次回分かりやすい資料をご 提示する。	22

資産維持率の検討

第2回協議会 資料2 スライド22

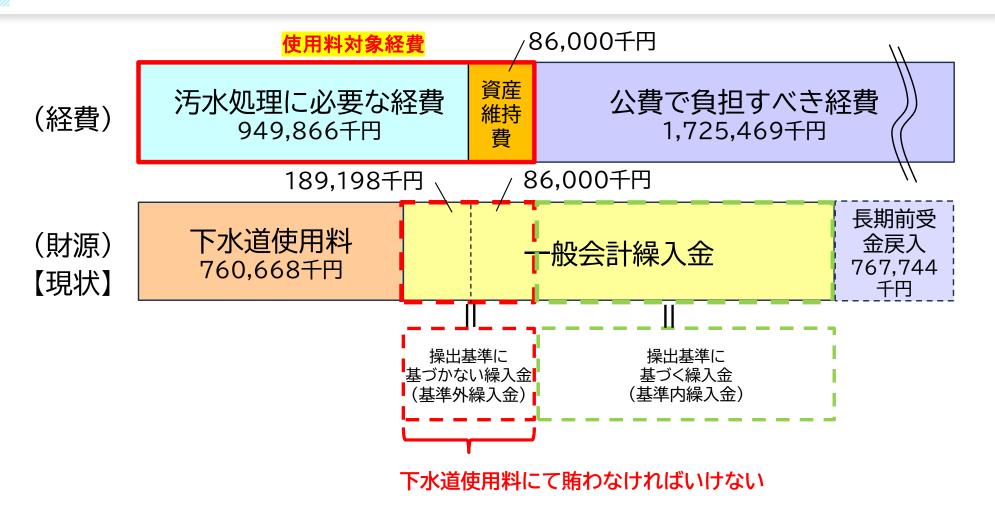
- 水道料金を参考に資産維持率3.0%とすると、あまりに急激な上昇となるため、資産維持率0.1%~3%について試算しております。
- 財源のバランスをみながら計上するべき資産維持率を検討します。

※使用料対象期間(R7~R11の5年間)合計

(単位:千円)

資産維持率	0%	0.1%	0.2%	0.4%	0.6%	0.8%	1.0%	2%	3%
維持管理費(A)		·			636,507				
資本費(B)					1,944,653				
資産維持費 (C)	0	43,000	86,000	171,999	257,999	343,999	429,998	859,997	1,289,995
控除 (D)		·			1,725,469				
総括原価(A+B+C-D)	855,691	898,691	941,691	1,027,690	1,113,690	1,199,690	1,285,689	1,715,688	2,145,686
資金不足額		·			94,175				
使用料収入					760,668				
不足額	189,198	232,198	275,198	361,197	447,197	533,197	619,196	1,049,195	1,479,193

使用料対象経費と財源について



収益的収支 単年で汚水を処理するのに必要な費用と収益

維持管理費

・・・日常の下水道施設の維持管理に要する経費

資本費

経営戦略 ・・・減価償却費、企業債等支払利息(一時借入金利息を除く。)及び企業債取扱諸費等 P72~73 下水道使用料 度 R6年度 合計 3,803,340 R14年度 決算見込 R10年度 R11年度 R12年度 R13年度 18年度 R5年度 R7年度 R8年度 R9年度 X 分 平均 760,668 965, 941 794, 376 802, 056 964, 468 949, 115 982, 479 927, 491 946, 177 958, 613 975, 978 953, 617 775,683 (1) 料 761, 478 745, 718 753, 162 760,639 768, 138 798, 208 805, 959 808, 210 <u>(B)</u> (2) 受 託 工 事 収 174, 253 175,067 (3) そ 177, 934 維持管理費(A) 0 145, 486 202,989 203, 397 193,015 1, 564, 343 1,644,391 1,688,504 1, 659, 017 1, 666, 483 1, 672, 386 1, 650, 141 1,650,886 2. 営 1, 658, 069 1,669,679 (1) 補 810, 235 889, 995 837, 659 893, 371 860,667 890, 231 919, 239 894, 618 862, 770 831, 127 640,362 会計負担金会計補助金 798, 373 884, 618 879, 995 286 862,770 837, 659 831, 127 871, 173 833,062 882,626 919, 239 国庫補助金都道府県補助金 7, 350 255 11,637 21, 115 27, 350 10,000 10,000 職員給与費 1,083 合計 163,076 益 769, 567 802, 696 805, 562 746, 423 760, 265 776,804 772,527 762, 345 757, 478 812,839 平均 32,615 入 (3) 6,920 6,920 910 (C) 2, 622, 537 2, 593, 506 2, 615, 856 2, 634, 995 2, 644, 847 2, 631, 167 2, 633, 365 2, 491, 834 2, 298, 916 2, 293, 068 2, 333, 352 2, 374, 256 2, 392, 727 2, 405, 584 営 用 2,144,963 2,226,079 2,283,682 2,275,422 修繕費、材料費 36, 337 31, 242 32,830 34, 571 37,068 1) 職 16,786 16, 149 16, 792 17, 296 17,815 18, 900 電力費、委託料 給 3,011 資本費(B) 合計 3,038,734 14, 456 13,670 13, 924 14, 342 14, 772 15, 671 0 益 (2) 経 514, 675 548,901 560,060 547, 996 589, 402 592, 741 608, 162 平均 607,747 1,942,530 10, 423 9,533 12,083 収 料 2.045 2, 126 2, 214 1,710 1,883 1,961 2,042 0 502, 542 537, 323 547.854 535, 297 576.191 578, 998 593, 865 572,460 568, 269 減価償却費 支 4) 資 1 682 124 1, 694, 321 1, 711, 1 1, 585, 679 1, 634, 348 1, 676, 140 1, 679, 022 1, 660, 161 合計 8,339,173 耗 13, 226 10,000 16,7661 10, / 営 業費 141 平均 1,667,835 249, 368 240, 163 239, 9 230, 8 259, 418 249, 654 317, 252 339, 320 外 263, 482 260, 296 利 306, 269 324,876 の 9,764 9,0 10, 983 14, 444 2,589,689 2,576,718, 2,598,063 2,591,1 支 出 計 (D) 2, 462, 215 2, 565, 399 2, 589, 299 2, 570, 370 2, 583, 066 2, 568, 433 2, 603, 292 支払利息 (E) (F) 14, 952 26, 279 38,8671 (C)-(D)29,619 57, 138 4, 207 64,051 66, 561 16,808 合計 1,373,478 2, 234 2, 234 支出計 (G) 2,962 2,788 2,234 2,234 2, 234 274,696 △ 2,234 △ 2, 234 △ 2,962 △ 2,788 △ 2,234 △ 2,234 △ 2,234 合計 12,914,460 14, 574 当年度純利益(又は純損失) (E)+(H)26,657 54, 351 1,973 43, 251 61,817 64, 327 平均 2,582,892 329 14, 355 繰越利益剰余金又は累積欠損金([) 231, 494 233, 555 104, 212 73, 047 95, 945 132,954 87, 944

維持管理費(A)

資本費(B)

貸借対照表

A H L L D 77 +

年度末時点に企業が所有している すべての資産、負債及び資本を表示する報告書

資産維持費(C)

使用料算定期間

経営戦略 P76~77

谷供 就职主										-				
貸借対照表	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18
固定資産	46, 878, 958	46, 476, 232	45, 776, 263	44, 815, 879	44, 092, 735	44, 170, 505	44, 220, 452	43, 824, 571	43, 078, 130	42, 170, 179	41, 447, 975	40, 568, 617	39, 638, 954	38, 604, 956
土地	1,615,336	1, 615, 336	1, 615, 336	1,615,336	1,615,336	1,615,336	1,615,336	1.615,336	1,615	-4-4	Ш	1,615,336	1, 615, 336	1,615,336
償却資産(累計)	51, 672, 367	51, 777, 312	53,008,934	53, 985, 105	54, 703, 743	55,640,760	57, 368, 527	59, 092, 327		土均	_	63,091,880	63, 945, 641	64, 754, 562
+当年度資産	0	1, 241, 622	992, 937	735, 404	953, 783	1,744,534	1,740,566	1, 305, 294	952	3計 8,0	76,680	870,528	825, 687	735, 399
資産減耗費 (△)	0	△ 10,000	△ 16,766	△ 16,766	△ 16,766	△ 16,766	△ 16,766	△ 16,766	△ 16 🗓	四均 1.6	15,336	△ 16,766	△ 16,766	△ 16,766
減価償却累計額 (△)	△ 6,513,690	△ 6,513,690	△ 8,148,038	△ 9,824,178	△ 11,503,200	△ 13, 163, 361	△ 14, 813, 358	△ 16, 487, 211	△ 18, 1	, ,,,	. 0,000	△ 23, 259, 241	△ 24, 992, 360	△ 26, 730, 944
+当年度減価償却費(有形)	0	△ 1,634,348	△ 1,676,140	△ 1,679,022	△ 1,660,161	△ 1,649,997	△ 1,673,853	△ 1,684,409	△ 1,682,124	△ 1,694,321	△ 1,711,176	△ 1,733,119	△ 1,738,584	△ 1,752,631
建設仮勘定	104, 945	0	0	0	0	0	0	0	(0	0	0	0	0
有 形 固 定 資 産 計	46,878,958	46, 476, 232	45, 776, 263	44, 815, 879	44, 092, 735	44, 170, 505	44, 220, 452	43, 824, 571	43,078 120	12 170 170	11 117 075	40 568, 617	39, 638, 954	38, 604, 956
無 形 固 定 資 産 計	0	0	0	0	0	0	0	0		有形因	司定資産	0	0	0
投資その他の資産計	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0
流動資産	2, 298, 048	1, 257, 725	1, 118, 637	1,096,871	1, 113, 431	1, 152, 490	1, 113, 419	1, 101, 371	1,117		3,075,83	υ, υυτ	1, 148, 200	1, 158, 872
現金預金	1,548,337	919, 470	867, 736	864, 266	861, 445	861, 458	861, 471	861, 484	871	∑均 44	1,615,16	7,859	904, 323	914, 550
未収金	686, 873	167, 524	164, 058	165,696	167, 342	168,989	170,650	172, 317	173, 990	1 14, 104	170,432	175,606	177, 311	177, 806
未収金(消費税還付)	0	107, 893	24, 005	4, 071	21,806	59, 205	18,460	4, 732	6, 370	6, 523	7, 385	4, 581	3, 728	3,678
貸倒引当金 (△)	△ 512	△ 512	△ 512	△ 512	△ 512	△ 512	△ 512	△ 512	△ 512	△ 512	△ 512	△ 512	△ 512	△ 512
貯蔵品	0	0	0	0	0	0	0	0	(0	0	0	0	0
前払金	0	0	0	0	0	0	0	0	(0	0	0	0	0
その他流動資産	63, 350	63, 350	63, 350	63, 350	63,350	63, 350	63,350	63, 350	63, 350	63, 350	63, 350	63, 350	63, 350	63, 350
資 産 合 計	49, 177, 006	47, 733, 957	46, 894, 900	45, 912, 750	45, 206, 165	45, 322, 995	45, 333, 872	44, 925, 942	44, 192, 825	43, 295, 821	42, 586, 185	41, 709, 501	40, 787, 154	39, 763, 828

有形固定資産合計 平均 44,615,167 土地 平均 1,615,336 対象資産

有形固定資産(土地以外) 42,999,831

資産維持費(C)

資産維持率	資産維持費
0.1%	43,000
0.2%	86,000
0.4%	171,999
1%	429,998
2%	879,997
3%	1,289,995

公費負担分の内訳

控除(D)

項目	種 別	算 出 方 法	金 額 (千円)
	維持管理費	雨水に係る経費に計画雨水汚水割合(77:23)を乗じて算出	71,185
雨水処理に要する経費	減価償却費	雨水資産に係る減価償却費	46,525
	利息	雨水資産にかかる起債の償還利子	15,733
分流式下水道に要する経費		(汚水分減価償却費+汚水分利息)-汚水分長期前受金+汚水維持管理費-特定財源のあるもの-使用料収入(適正な使用料単価150円/㎡×有収水量)	701,087
下水規制に要する経費		水質規制事務に係る人件費及び経費	10,355
水洗化改造に要する経費		水洗化業務に係る人件費及び経費	14,768
下水道事業債の元利償還金 (地方公営企業法適用債、普及 臨時措置分、特例措置分、特別		繰入基準で示された起債に対する償還元金及び利子	18,496
し尿処理負担金、損害負担金 消化ガス使用料、雑収入		負担する相手が決められた経費(特定財源のある経費)	79,575
長期前受金戻入		資産を取得した際に受け入れた補助金を耐用年数で割った1年 分	767,744
		合計	1,725,469

一般会計繰入金の必要額について

資金不足額

収支が均衡するのに必要な一般会計からの繰入金

経営戦略 P74,75

〇他会計繰	入金													(当	单位:千円)
₹ E	年 度 分	R5年度	R6年度 (決 算 (見 込)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	」 L R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
収益的収	又 支 分	943, 859	1,003,818	961, 348	1,008,536	1,050,119	1,015,015	[⊥] 1, 012, 999	988, 470	979,875	1,013,061	1,020,638	994, 980	971, 259	964, 505
ę.	うち基準内繰入金	838, 948	883,696	866,736	874, 674	891, 661	851,363	898,846	875,834	854, 716	874, 473	850,967	852,918	851, 396	846,685
	うち基準外繰入金	104, 911	120,122	94, 612	133, 862	158, 458	163,652	114, 154	112,637	125, 158	138,588	169, 671	142,061	119, 863	117,820
資本的以	又支分	507, 986	57,856	83, 348	172, 629	176, 559	178,020	144,129	110,978	126, 292	125,335	122, 155	118, 572	113, 081	110, 218
K-I	うち基準内繰入金	0	0	0	0	0	0	_ O	0	0	0	0	0	0	0
er.	うち基準外繰入金	0	0	0	0	0	0	. 0	0	0	0	0	0	0	0
	うち出資金(基準内)	114, 046	1,606	27,098	116, 379	120, 309	121,770	87, 879	110,978	126, 292	125,335	122, 155	118,572	113, 081	110, 218
لا	うち出資金(基準外)	393, 940	56,250	56, 250	56, 250	56, 250	56,250	56, 250	0	0	0	0	0	0	0
合	計	1,4[タイトルなし]	1,061,674	1,044,696	1, 181, 165	1, 226, 678	1, 193, 035	្ធ 1, 157, 129	1,099,448	1, 106, 167	1, 138, 396	1,142,793	1, 113, 552	1, 084, 340	1,074,723

-般会計繰入金合計 1,160,541千円 基準内繰入金

971,343千円

基準外繰入金

189,198千円

= 資金不足額

※R7~11(5年間)の平均

資産維持率の検討

5か年平均計算の際、 誤りが見つかりましたので下記 のとおり修正します。

• 水道料金を参考に資産維持率3.0%とすると、あまりに急激な上昇となるため、資産維持率0.1%~3%について試算しております。

法从一

財源のバランスをみながら計上するべき資産維持率を検討します。

	※使用料対象期間(R7~	-R11の5年間)	合計				11修止		(単	位:千円)
	資産維持率(※1)	0%	0.1%	0.2%	0.4%	0.6%	0.8%	1.0%	2.0%	3.0%
	維持管理費(A)					640,362				
	資本費 (B)					1,942,530				
r	資産維持費(C)(※2)	0	43,000	86,000	171,999	257,999	343,999	429,998	859,997	1,289,995
	公費負担分(D)					1,725,469	·			
P	汚水処理費(A+B+C-D)	857,423	900,423	943,423	1,029,422	1,115,422	1,201,422	1,287,421	1,717,420	2,147,418
P	資金不足額					92,443				
	下水道使用料					760,668				
	不足額	189,198	232,198	275,198	361,197	447,197	533,197	619,196	1,049,195	1,479,193

使用料対象経費

資料2

適正な下水道使用料の検討について

第3回 越前市水道料金·下水道使用料等協議会

越前市上下水道課

議 題

- (1)適正な使用料の検討の進め方について
- (2)使用料体系について
- (3)使用料改定した場合の影響について

(1) 適正な使用料の検討の進め方について

公営企業の基本原則

✓ 公営企業会計は、独立採算制の原則のもと経営を行います。

適正な経費負担区分を前提とした 独立採算制の原則

独立採算制の原則(地方公営企業法第17条の2第2項)

地方公営企業の特別会計においては、<u>その経費は、前項の規定により地方公共団体の一般会計又は他の特別会計におい</u>て負担するものを除き、**当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てなければならない。**



経費負担区分(地方公営企業法第17条の2第1項)

汚水の処理費用は、 使用者から徴収する下水道使用料収入に よって運営されなければならない。

その性質上当該地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費 当該地方公営企業の性質上能率的な経営を行なってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難 であると認められる経費

例)雨水処理の要する経費・・・

自然現象に対する浸水対策であり、公益な目的であるため公費負担とされている。

他にも、公費負担とされている経費は総務省操出基準(P10参考)にて明らかにされている。



一般会計において 負担するもの

基準内繰入金

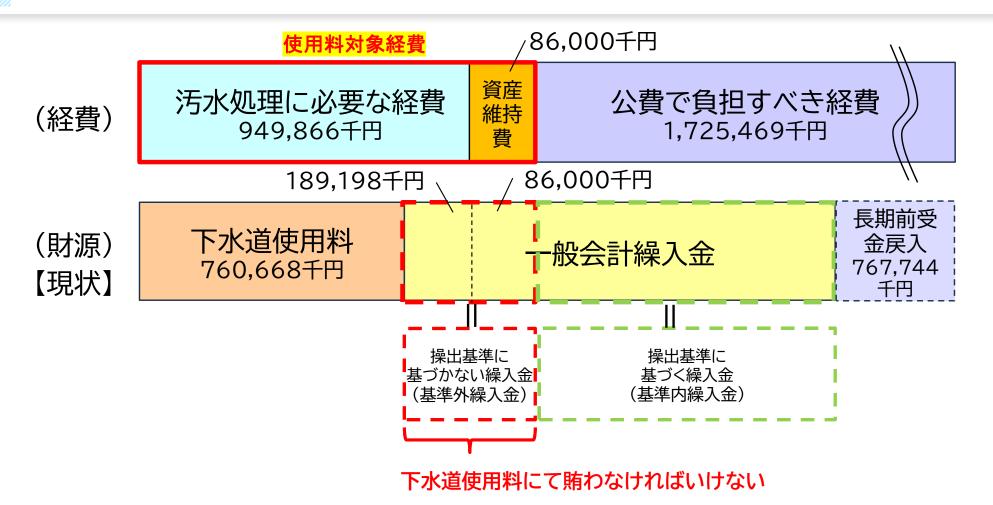
公営企業の基本原則

事業の継続

住民生活に必要不可欠なサービスを持続的に提供

- 経営・資産等の状況を的確に把握し、経営基盤の計画的な強化 (更新投資の優先度の把握、施設・設備への投資の合理化や適切な 維持・管理、財源の更なる確保、徹底した効率化等)
- 財政マネジメントの向上 (使用料で回収すべき経費や将来必要な投資 経費を踏まえた適正な 料金算定等)

使用料対象経費と財源について



適正な使用料の検討の進め方

下水道使用料の検討にあたり、以下の点に注意しながら検討を進めます。

・ 重要なライフラインである下水道を保全するため、 施設の維持管理経費と更新費用を確保すること。

汚水処理に必要な経費及び 資産維持費を使用料で賄う ことが望ましい。

・ 一般会計繰入金を減らし、税金の負担を軽減すること。

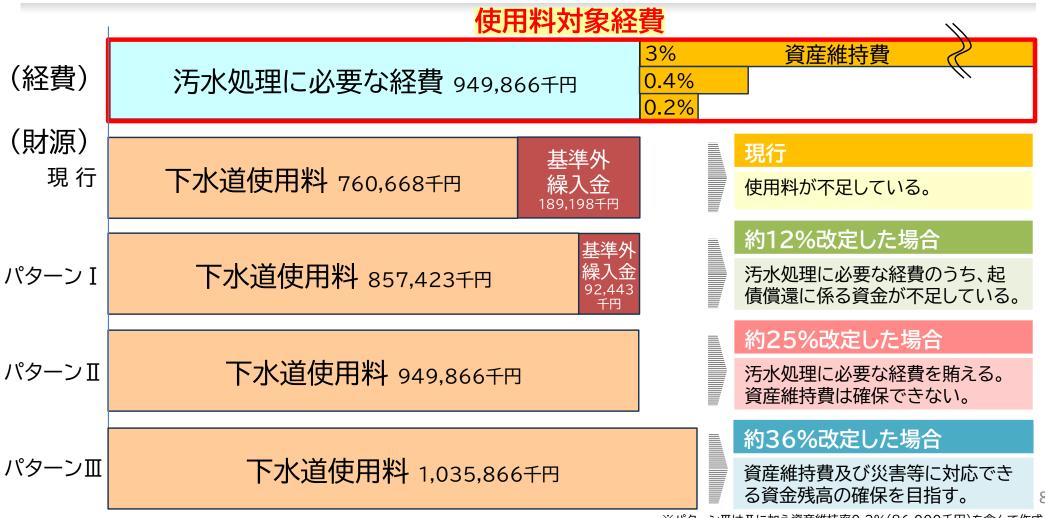
基準外繰入金約1億9千万円を減額すること。

・災害などの緊急対応に備えた資金を確保すること。

・ 市民生活への影響を充分に考慮すること。

緊急時対応できるように、 使用料収入1年分(約8億円)の 資金残高を確保することが望ましい。

適正な下水道使用料の考え方



※パターンⅢはⅡに加え資産維持率0.2%(86,000千円)を含んで作成

(2)使用料体系について

下水道使用料体系

越前市の下水道使用料体系	二部料金制・・・基本料金と超過料金からなる
基本水量の設定	有り
超過料金	単一型・・・処理水量に応じて単価設定。
直近の使用料改定	平成16年4月・・・47.3%改定(消費税率引上げによる改定を除く)

下水道使用料体系表

汚水区分	基本水量	基本料金	超過料金(1㎡につき)				
/7水区刀	基 本小里	圣个 <u>什</u> 亚	水量	料金			
			10㎡を超え30㎡以下	133円			
公共下水道			30㎡を超え50㎡以下	162円			
集落排水	10㎡以下	1,100円	50㎡を超え100㎡以下	177円			
(平吹地区除く)			100㎡を超え300㎡以下	192円			
			300㎡を超える分	206円			

[※]使用料は、表に基づき算出した使用料基礎額に、100分の110を乗じて得た額(1円未満切り捨て)

[※]料金体系の水量、金額については1カ月分です。実際は2カ月毎に徴収を行います。

下水道使用料体系

• 戸別公共浄化槽使用料・平吹地区農業集落排水使用料は水道の使用水量とは関係なく、利用世帯の世帯員数で計算します。 浄化槽使用料体系表

〈一般住宅〉

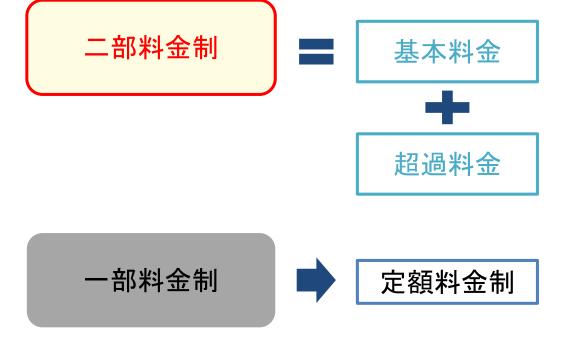
(税抜)

基本料金	世帯員割料金
1世帯当り 2,300円	世帯員一人当り 500円

※使用料は、表に基づき算出した使用料基礎額に、100分の110を乗じて得た額(1円未満切り捨て)

※料金体系の水量、金額については1カ月分です。実際は2カ月毎に徴収を行います。

① 使用料区分



使用水量の有無にかかわらず、用途に応じて、下水道使用者に負担してもらう料金。

使用水量に応じて、使用者に負担してもらう料金。

一般的に上下水道事業は 使用水量の有無に関係なく安定的な 事業運営を維持するための固定的な 経費として負担してもらう「基本料金」 と使用した水量に応じて必要な経費を 負担してもらう「超過料金(従量料 金)」から構成される「二部料金制」を 採用している。

② 基本水量

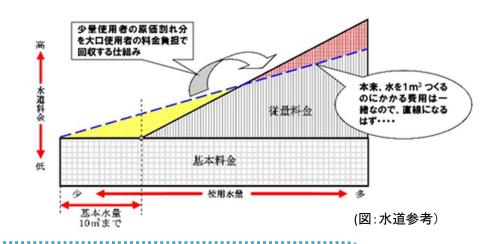
▽越前市採用

基本水量あり



基本水量制とは、使用水量に関わらず一律に請求される固定料金で、下水道施設を整備・維持管理するための固定費の一部を負担するもの

基本水量以下の使用者は、 節水しても料金が変わらないことになります。 基本水量を廃止とする場合は、 使用した水量に応じて料金負担に差が生じること となり、負担の公平性が図られます。 しかし、基本水量を下げると家庭用少量使用者 の負担増につながるおそれもあります。



参考

(R2.7.21国交省通知) 下水道使用料体系見直しの方向性

■ 基本水量制の廃止

基本水量内の使用者間の **負担の公平性**に問題

□ 基本水量なしでの基本水量性と従量水量性の組み合わせ

検討①

基本水量の設定

越前市の下水道使用料金は、現状「基本水量あり」としています。

基本水量の設定:

あり

なし

- ▶ これまで基本料金には、下水道施設を整備・維持管理するための固定費の一部を負担することを目的として「基本水量」が付与されており、今回の改正(案)としては、まだ継続して必要性が高いと判断し「基本水量」を付与しております。
- ▶ しかし、家族形態、ライフスタイルの多様化や節水機器の普及などにより、基本水量を下回る世帯が年々 増加傾向であることから、今後の課題にしたいと思います。

基本水量のメリット	基本水量のデメリット
少量利用者の下水道使用料が軽減される。	基本料金内の利用者間の公平性が保たれない。

■国土交通省通知(令和2年7月21日) ◇下水道使用料体系見直しの方向性 基本水量内の使用者間の負担の公平性に問題があるものとして、基本水量性を廃止するよう見直しが求められた。

検討①

基本水量の設定

現在

基本水量=あり



〈現行料金表〉

下水道使用料

(税抜)

汚水の種類	超過水量	使用料
一般汚水	10㎡以下	1,100円
	10㎡を超え30㎡以下	133円
	1立方メートルにつき	
	30㎡を超え50㎡以下	162円
	1立方メートルにつき	
	50㎡を超え100㎡以下	177円
	1立方メートルにつき	
	100㎡を超え300㎡以下	192円
	1立方メートルにつき	
	300㎡を超えるもの	206円
	1立方メートルにつき	
特別汚水	10 m³	20円
	10㎡を超えるもの	4円
	1立方メートルにつき	

改定案

基本水量=あり

ただし、今後料金改定を検討する際にはあり方を検討。

〈料金表改定案〉

下水道使用料

汚水の種類	超過水量	使用料
一般汚水	5㎡以下	円
	5㎡を超え10㎡以下	円
	1立方メートルにつき	
	10㎡を超え30㎡以下	円
	1立方メートルにつき	
	30㎡を超え50㎡以下	円
	1立方メートルにつき	
	50㎡を超え100㎡以下	円
	1立方メートルにつき	
	100㎡を超え300㎡以下	円
	1立方メートルにつき	
	300㎡を超えるもの	円
	1立方メートルにつき	
特別汚水	5m³	円
	5㎡を超えるもの	円
	1立方メートルにつき	

検討 ②

超過水量区分

現在

単一型

〈現行料金表〉

下水道使用料

(税抜)

汚水の種類	超過水量	使用料
一般汚水	10㎡以下	1,100円
	10㎡を超え30㎡以下	133円
	1立方メートルにつき	
	30㎡を超え50㎡以下	162円
	1立方メートルにつき	
	50㎡を超え100㎡以下	177円
	1立方メートルにつき	
	100㎡を超え300㎡以下	192円
	1立方メートルにつき	
	300㎡を超えるもの	206円
	1立方メートルにつき	
特別汚水	10 m ³	20円
	10㎡を超えるもの	4円
	1立方メートルにつき	

改定案

単一型

〈料金表改定案〉

下水道使用料

1.3.22.311		
汚水の種類	超過水量	使用料
一般汚水	5㎡以下	円
	5㎡を超え10㎡以下	円
	1立方メートルにつき	
	10㎡を超え30㎡以下	円
	1立方メートルにつき	
	30㎡を超え50㎡以下	円
	1立方メートルにつき	
	50㎡を超え100㎡以下	円
	1立方メートルにつき	
	100㎡を超え300㎡以下	円
	1立方メートルにつき	
	300㎡を超えるもの	円
	1立方メートルにつき	
特別汚水	5 m³	円
	5㎡を超えるもの	円
	1立方メートルにつき	

新たな下水道使用料金表(案)

下水道使用料

(税抜)

汚水の種類	超過水量	使用料
一般汚水	10㎡以下	1,100円
	10㎡を超え30㎡以下	133円
	1立方メートルにつき	
	30㎡を超え50㎡以下	162円
	1立方メートルにつき	
	50㎡を超え100㎡以下	
	1立方メートルにつき	
	100㎡を超え300㎡以下	192円
	1立方メートルにつき	
	300㎡を超えるもの	206円
	1立方メートルにつき	
特別汚水	10 m³	20円
	10㎡を超えるもの	4円
	1立方メートルにつき	



浄化槽使用料

〈一般住宅〉

(税抜)

基本料金		世帯員割料金	
1世帯当り	2,300円	世帯員一人当り	500円

下水道使用料

(税抜)

汚水の種類	超過水量	使用料
一般汚水	5㎡以下	円
	5㎡を超え10㎡以下	円
	1立方メートルにつき	
	10㎡を超え30㎡以下	円
	1立方メートルにつき	
	30㎡を超え50㎡以下	円
	1立方メートルにつき	
	50㎡を超え100㎡以下	円
	1立方メートルにつき	
	100㎡を超え300㎡以下	円
	1立方メートルにつき	
	300㎡を超えるもの	円
	1立方メートルにつき	
特別汚水	5m³	円
	5㎡を超えるもの	円
	1立方メートルにつき	

浄化槽使用料

〈一般住宅〉

基本料金	世帯員割料金
1世帯当り 円	世帯員一人当り 円

(3)使用料改定した場合の影響について

簡易料金シミュレーション手順について



比較パターン

改定率	基本水量(1カ月分)
現行	現行(10㎡)
12%	5m³
25%	
36%	

主な世帯	水量(1カ月)
単身世帯	8m³
2人世帯	16m³
3人世帯	20m³

	県内他市	類似団体
	県内8市	富山県射水市
鯖江ī 勝山ī	福井市、坂井市、 鯖江市、敦賀市、	石川県加賀市
	勝山市、大野市、 あわら市、小浜市	滋賀県近江八幡市
	בן אלוי ני אבן וע פוינט	京都府舞鶴市

①算定期間内の排水需要の予測

基本水量 変更なし(10㎡/月)							
	R6年度	(実績)	算定期間(R7~R11)				
使用料対象水量 (2か月使用水量)	調定件数 (2か月毎の検針)	水量	調定件数 (2か月毎の検針)	水量			
0㎡を超え 20㎡以下	55, 531	2, 402, 904	58, 023	2, 370, 471			
21㎡を超え 60㎡以下	73, 470	2,040,805	74, 216	1, 883, 843			
61㎡を超え 100㎡以下	15, 322	372, 268	12, 714	309, 405			
101㎡を超え 200㎡以下	2, 712	187, 196	2, 177	168, 669			
201㎡を超え 600㎡以下	829	218, 039	753	203, 498			
600㎡を超える 分	308 245, 096		289	220, 987			
合計	148, 172	5, 466, 308	148, 172	5, 156, 918			

※他団体における使用料改定における配水需要を行う際には人口減少はするが、建物がなくなる等は考慮せず検討を行うのが一般的であるためR6年度における調定件数と算定期間の調定件数は変化しないものとしている。

また、調定件数を減少させる際には、職員の恣意性が入ることが多分にあるため恣意性排除観点からも調定件数は変動させないものとしている。

基本水量 変更(5㎡/月)							
	R6年度	(実績)	算定期間	(R7~R11)			
使用料対象水量 (2か月使用水量)	調定件数 (2か月毎の検針)	水量	調定件数 (2か月毎の検針)	水量			
0㎡を超え 10㎡以下	28, 544	1, 323, 933	31, 263	1, 318, 487			
11㎡を超え 20㎡以下	26, 987	1, 078, 971	26, 760	1, 051, 984			
21㎡を超え 60㎡以下	73, 470	2,040,805	74, 216	1, 883, 843			
61㎡を超え 100㎡以下	15, 322	372, 268	12, 714	309, 405			
101㎡を超え 200㎡以下	2,712	187, 196	2, 177	168, 669			
201㎡を超え 600㎡以下	829	218, 039	753	203, 498			
600㎡を超える 分	308	245, 096	289	220, 987			
合計	148, 172	5, 466, 308	148, 172	5, 156, 918			

②各改定率の使用料体系を作成

基本水量が現行の場合(10㎡/1カ月)

基本水量を(5㎡/1カ月)にした場合

					(1/63/2/)	
汚水区分	基本水量	基本水量 基本料金			超過料金(1㎡につき)	
万水区刀	奉 中小里	全个 件並		水量	料金	
ハサ下水道	公共下水道 集茶料 -1	1段階	10㎡を超え30㎡以下	149 円		
集落排水		以下 1,232 円	2段階	30㎡を超え50㎡以下	181 円	
(平吹地区	10㎡以下		3段階	50㎡を超え100㎡以下	198 円	
除く)			4段階	100㎡を超え300㎡以下	215 円	
赤 \ /			5段階	300㎡を超える分	231 円	

1.	711	11	_\
(:	ᄷᄆ	.Ŧ3	71
\'	171	1/2	ζ,

(税抜)

 注水区分	汚水区分 基本水量			超過料金(1㎡につき)		
万水区刀				水量	料金	
公共下水道			1段階	10㎡を超え30㎡以下	166 円	
	集落排水 (平吹地区 10㎡以下	㎡以下 1,375円	2段階	30㎡を超え50㎡以下	203 円	
			3段階	50㎡を超え100㎡以下	221 円	
除く)			4段階	100㎡を超え300㎡以下	240 円	
除人			5段階	300㎡を超える分	258 円	

(税抜)

\sim		0/
~	6	0/
.)	()	_/O

汚水区分	汚水区分 基本水量			超過料金(1㎡につき)	
77.70万 基本小里		基本料金		水量	料金
公共下水道		1段階	10㎡を超え30㎡以下	181 円	
		1,496 円	2段階	30㎡を超え50㎡以下	220 円
(平吹地区	集落排水 10㎡以下		3段階	50㎡を超え100㎡以下	241 円
除く)		4段階	100㎡を超え300㎡以下	261 円	
			5段階	300㎡を超える分	280 円

					(柷扱)	
汚水区分	基本水量	基本水量 基本料金		超過料金(1㎡につき)		
/小八区 //	坐中小里	至个行业		水量	料金	
			1段階	5㎡を超え10㎡以下	22 円	
公共下水道			2段階	10㎡を超え30㎡以下	152 円	
集落排水	5㎡以下	1,120 円	3段階	30㎡を超え50㎡以下	181 円	
(平吹地区	加坡下	1,120	4段階	50㎡を超え100㎡以下	198 円	
除く)			5段階	100㎡を超え300㎡以下	215 円	
			6段階	300㎡を超える分	231 円	

超過料金(1㎡につき) 汚水区分 基本水量 基本料金 水量 料金 5㎡を超え10㎡以下 25 円 1段階 170 円 公共下水道 2段階 10㎡を超え30㎡以下 集落排水 30㎡を超え50㎡以下 3段階 203 円 5㎡以下 1,250 円 (平吹地区 50㎡を超え100㎡以下 221 円 4段階 240 円 除く) 5段階 100㎡を超え300㎡以下 300㎡を超える分 258 円 6段階 (税抜)

汚水区分 基本水量		基本料金		超過料金(1㎡につき)		
万水区刀	全 中小里	全 个付亚		水量	料金	
			1段階	5㎡を超え10㎡以下	27 円	
公共下水道			2段階	10㎡を超え30㎡以下	185 円	
集落排水	5㎡以下	以下 1,360 円	3段階	30㎡を超え50㎡以下	220 円	
(平吹地区	JIII以下		4段階	50㎡を超え100㎡以下	241 円	
除く)			5段階	100㎡を超え300㎡以下	261 円	
			6段階	300㎡を超える分	280 円	

③各世帯別の影響を比較

<基本水量が10㎡/月の場合の使用料(1カ月分)>

(税抜)

水量		8m 16m 20			16m³			20m³	
改定率	使用料	影響額	年間影響額 (税込)	使用料	影響額	年間影響額 (税込)	使用料	影響額	年間影響額 (税込)
現在	1,100円	_		1,898円	_		2,430円	_	
12%	1,232円	132円	1,742円	2,126円	228円	3,010円	2,722円	292円	3,854円
25%	1,375円	275円	3,630円	2,371円	473円	6,244円	3,035円	605円	7,986円
36%	1,496円	396円	5,227円	2,582円	684円	9,029円	3,306円	876円	11,563円

<基本水量が5㎡/月の場合の使用料(1カ月分)>

	水量		8m³			16m³		20m³				
改定率		使用料	影響額	年間影響額 (税込)	使用料	影響額	年間影響額 (税込)	使用料	影響額	年間影響額 (税込)		
	12%	1,186円	86円	1,135円	2,142円	244円	3,221円	2,750円	320円	4,224円		
	25%	1,325円	225円	2,970円	2,395円	497円	6,560円	3,075円	645円	8,514円		
	36%	1,441円	341円	4,501円	2,605円	707円	9,332円	3,345円	915円	12,078円		

[※]使用料は、表に基づき算出した使用料基礎額に、100分の110を乗じて得た額(1円未満切り捨て)

[※]料金体系の水量、金額については1カ月分です。実際は2カ月毎に徴収を行います。

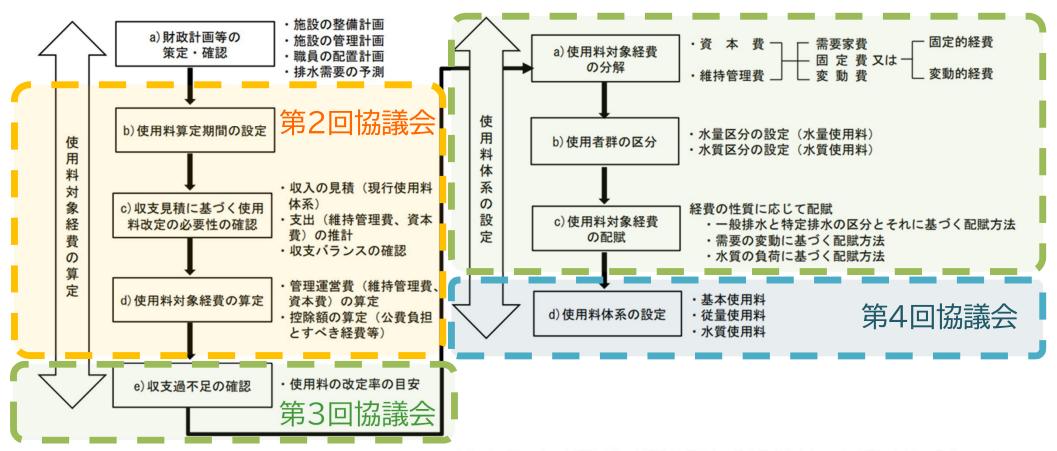
4県内他市及び類似団体との比較

	<mark>基本料金</mark>												() ± (± m)(((2))(1)	1011-0-0-0				
		1	5	8	10 15	20	25	30 40	50	100	200	300	500m²	1, 000㎡	参考使用料(税抜 8㎡使用時/月		参考使用料(税抜) 20㎡使用時/月	
	小浜市	1,350	0	160		185		200	210			225			1,350	2,780	3,520	1
	鯖江市	1,060	0	42	169			182		194	4		207		1,186	2, 284	2,960	2
福	大野市	1,400	0		150			160	170			180	180		1,400	2,300	2,900	3
福井県	坂井市(R7.4~)	1,320	0		144		156 180		204					1,320	2, 184	2,760	4	
片	あわら市	1,400	0		135		145	155	155 165			1,400	2,210	2,750	5			
の	敦賀市(R8.1~)	1,140	7		151		180	209 238	269	294			1,196	2, 116	2,720	6		
市	勝山市	1,230	0	0		130		150	170	195		1,230	2,010	2,530	7			
	越前市	1,100	0			133		162	177		192		206		1,100	1,898	2,430	8
	福井市	1,050	11		122		138	161	1	208		•	222		1,138	1,892	2,380	9
類	射水市	1,400	0		150				160						1,400	2,300	2,900	
似隣	加賀市	1,200	0		130						135 140			1,200	1,980	2,500		
団	近江八幡市	1,286	0		125	137		146	158	165	7		179	·	1,286	2,036	2,596	
体	舞鶴市	640	0	84	173							892	2,098	2,790				
	※基本料金は、一般汚水1か月当たりの税抜額。従量料金は、1m ³ 当たりの使用料(税抜)									•								
	※大野市の基本料には計器使用料として、60円加えている。																	
各改定率	をにおける比較	1	5	8	10 15	20	25	30 40	50	100	200	300	500m²	1, 000㎡	参考使用料(税抜 8㎡使用時/月		参考使用料(税抜) 20㎡使用時/月	
	現行	1, 100	0			133		162	177		192		206		1,100	1,898	2,430	8
基本水量	12%	1, 232	0			149		181	198		215		231		1, 232	2, 126	2,722	6
現行	25%	1,375	0			166		203	221		240		258		1,375	2, 371	3,035	2
	36%	1,496	0		1			220	241	241 261		280			1,496	2,582	3,306	2
	※基本使用料及び超過料金それぞれに改定率を掛けた場合																	
	0%想定	1,000	0	20		136		162	177		192		206		1,060	1,916	2,460	8
基本水量	12%	1, 120	0	22		152		181	198		215		231		1,186	2, 142	2, 750	5
5m ²	25%	1, 250	0	25		170		203	221		240		258		1,325	2, 395	3, 075	2
	36%	1,360	0	27		185		220	241		261		280		1, 441	2,605	3, 345	2

※基本水量の変更により5から10mの超過料金が発生するため、影響が最小限となる基本料金を設定し、それぞれに改定率を掛けた場合

使用料算定作業の進め方

【使用料算定の作業フロー】



今後のスケジュール

時期		令和7年								令和8年		
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
現状分析		5/28										
課題整理		•										
下水道使用料の算定の考え方				7/9								
適正な使用料を検討する上で の確認				2								
新使用料体系及び 複数シミュレーションの検討						9/30	-	11月 開催				
改定案、答申案								4				
答申										5		
市民への周知												